

## 豊丘村・喬木村における水資源に係る具体的な調査の計画に対する意見

No.	ページ	委員名	意見要旨
1	3	梅崎委員 富樫委員	調査地点 ・ボーリング孔を利用した観測井は、トンネルの深さ付近のデータが得られる地点として重要なので、水利用がなくても事後調査地点として位置付けること。
2	3 参1, 2	梅崎委員 富樫委員	調査地点 ・「伊那山地における水収支解析」における予測結果と事後調査及びモニタリングの結果を比較して検討することが重要なので、水収支解析を用いて予測した5地点と、事後調査計画における調査地点の対応が分かるように記載すること。
3	3 参1, 2	富樫委員	調査地点の設定について ・準備書における知事意見で、高架橋等の基礎工事による影響も含めて事後調査地点を設定するよう求めており、特に伊那山地西麓の竜東丘陵は、伊那累層（帯水層）とミノベタ部層（難透水層）が介在する特異な地質構造であるため、地下水資源の利用に支障を及ぼさないように十分に留意し、こうしたことを踏まえて調査地点を設定したことを明記すること。
4	6	梅崎委員 富樫委員 鈴木委員	調査頻度について ・工事中の調査頻度について「工事の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて調査頻度は検討する」とあるが、影響が出てからでは遅いので、工事着手前から頻度を上げて調査することが必要である。少なくとも、重要な調査地点については、地下水や表流水の水位について連続測定を行うことを検討すること。
5	その他	梅崎委員	工事による排水量の公表について ・トンネルの掘削工事に伴い発生する排水の量は、地下水・水資源への影響を考える上で重要なデータなので、併せて公表することを検討すること。